

令和 5 年第 4 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

6 月 1 3 日 (火) 午前 1 0 時～	1	栗 山 尚 記	議員	(6 0 分)
	2	成 田 哲 男	議員	(3 0 分)
	3	戸 田 芳 孝	議員	(3 0 分)
	4	笹 本 真 司	議員	(3 0 分)
6 月 1 4 日 (水) 午前 1 0 時～	5	金 澤 大 輔	議員	(4 5 分)
	6	黒 澤 一 夫	議員	(3 0 分)
	7	丸 岡 孝 文	議員	(3 0 分)
	8	湯 瀬 弘 充	議員	(3 0 分)
	9	館 花 一 仁	議員	(6 0 分)

□質問時間割当表

10:00	11:00	11:10	11:40	13:00	13:30	14:00
6 月 1 3 日 (火)	栗山尚記 (60 分)	休憩 10 分間	成田哲男 (30 分)	休 憩	戸田芳孝 (30 分)	笹本真司 (30 分)

10:00	10:45	10:55	11:25	11:55	13:00	13:30	13:40	14:40
6 月 1 4 日 (水)	金澤大輔 (45 分)	休憩 10 分間	黒澤一夫 (30 分)	丸岡孝文 (30 分)	休 憩	湯瀬弘充 (30 分)	休憩 10 分間	館花一仁 (60 分)

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	高齢者福祉について (1) 認知症患者の徘徊対応について			① 2025 年には高齢者の 5 人に 1 人は認知症になると言われている。認知症患者を抱える家族にとっての大きな悩みとして、高齢者の徘徊行動がある。家庭内で色々な対策をしても運動能力に問題の無い患者の外出を完全に防ぐことは難しい。一刻も早い発見ができなければ、大きな事故につながる可能性が高い。市内でも様々な対応をされていることは承知しているが、今一度問題点を洗い出し、さらなる対応が必要と思うが、考えを伺う。	
2	アフターコロナにおける市民生活について (1) 医療体制と医療機関の利用方法の周知について (2) 経済活性化や消費喚起について (3) 児童生徒のマスク着脱について			① 新型コロナウイルスの感染法上の分類の 5 類移行に対応すべく、市内の医療体制はどのように変化したのか。また、それらを利用する高齢者を中心とした市民には戸惑いが見られる。変化した環境に対する利用法等の周知は十分に分かりやすく行われているのか伺う。 ① 5 類移行の経済効果は、訪日客の急拡大も伴い 4 兆 2,000 億円とも言われている。反面、流行期に受けた融資の返済によるマイナス面や、生活様式の変化によるマイナス面に現場は直面している。さらには物価高騰という厳しい背景も同時に抱えている。これらを早期に打破するためには、効果的な経済活性化施策や官民一体となった消費喚起が必要と思うが、考えを伺う。 ① 長期にわたるコロナ渦での生活を経験した子供たちにとって、マスクを着用したままの日常が違和感のないスタイルとなってしまった。マスク着用は、熱中症やその他の体調不良の原因となるリスクを伴う。自己判断能力に欠ける子供たちに対し、学校生活をはじめとしたあらゆる場面での大人からの意識的な声掛けが必要不可欠と思われるが、現状と対応について伺う。	

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3	生産年齢人口の確保について				
	(1) 現状認識について			① 有効求人倍率の異常な高さに見られるように、労働力の不足は非常に深刻な問題である。併せて生産年齢人口の急速な減少は、鹿角市の少子高齢化や人口減少をさらに加速化させ、正に市の死活問題と捉える。市内企業の多くの経営者からは、悲痛の訴えが毎日のように届く。企業の死活問題ともなっているこの現状を行政としてどのように認識しているか伺う。	
	(2) 外国人労働者について			① 政府は、外国人の技能実習・特定技能両制度の見直しを検討しており、人材確保を目的に加えた新制度に確実に変わっていくと思われる。これは国自体が人口減少に転化したことに対する必要不可欠な政策転換である。本市においても乗り遅れてはいけない大きな波と捉える。国内に限らず国際的にも激化している人材確保競争へ乗り遅れないために、外国人受入れにつながる日本語学校経営への参画や受入れ環境の整備などの思い切った戦略の旗振り役が行政に求められていると思うが、考えを伺う。	
	(3) 市外の各種高等教育機関の生徒のUターンにつながる支援について			① 子供たちが将来、市内で国家資格を必要とする職業（医師・看護師・歯科衛生士・保育士等）に就くためには、いったん故郷を離れ高等教育機関に就学しての資格取得を避けては通れない。Uターンによる市内就業を促す条件付き奨学金（指定期間内のUターン就業による返済減免）創設は、人口、生産年齢人口確保に向けた効果的な手段と思うが、考えを伺う。	
	(4) 市外での起業支援とそれらの企業誘致について			① 市内出身者に限らず、市外での起業に対する条件付き融資（指定期間内での市内への本社移転による返済減免）と企業誘致施策との組み合わせによる支援も、市が求める業種に絞って実現できれば、生産年齢人口確保と企業誘致を同時に実現しうる効果的な戦略と思うが、考えを伺う。	
	(5) 公的機関の誘致について			① 人口減少や少子高齢化が想定以上に急速に進む現状を打破するためには、思い切って、生産年齢人口増加と経済効果を同時にもたらしてくれる自衛隊や刑務所、高等教育機関等の公的機関の誘致にトライすることも必要と思うが、考えを伺う。	

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

No.3					
順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4 花輪線路線維持・利用促進について (1) 沿線自治体との共通認識について				① 約9カ月の復旧工事を終え花輪線が運転再開となり、利用者をはじめ多くの方々の待望に応えている。一方、本年秋には地域公共交通の再編関連法が施行される。赤字額の大きい花輪線の廃線を阻止し効果的な利用促進を図っていくことは、鹿角市単独の努力で目標を達成出来るとは到底思えない。沿線自治体が一丸となった効果的な利用促進策が不可欠となるが、あくまでも路線を維持するといった当市の考えと沿線他自治体との共通認識は確認出来ているのか伺う。	
(2) 利用客獲得・赤字額削減について				① 観光車両の導入・メディアを活用したPR・サイクルトレインやイベント列車の運行・パークアンドライドの整備・運輸外収入の増収策等、全国各地で多種多様な路線維持に向けた活性化策が展開されているが、赤字を解消するレベルにはなかなか届いていないのが現実である。運転の再開をきっかけに市民の関心が高まっている今だからこそ、花輪線の廃線を阻止し、多くの方々に利用してもらうための効果的な利用促進策を即急に展開する必要があると思うが、計画を伺う。	
5 学校教育環境について (1) 通学時の鳥獣に対する安全確保について				① 季節が変わり、熊やイノシシなどの目撃情報が日に日に増えてきている。人への被害が毎年報告されているが、自然に囲まれた鹿角市の環境下では、通学路においても数多くの危険箇所が存在する。自己防衛能力が弱い子供たちを社会全体で守らなくてはならないと思うが、通学時の鳥獣に対する安全対策の現状と計画を伺う。	
(2) 部活動地域移行に対する支援について				① 全国的に進められている学校部活動の地域移行は、受入組織や指導者確保など、鹿角においても多くの問題を抱え難航している。現状は学校側が整備・管理・維持をしている活動に不可欠な設備や備品・用具等への今後の負担の所在が曖昧となっていることが見受けられる。これらの負担は地域移行後、個人や受入団体で背負えるものではなく、行政側がしっかりと支援していく必要があると思うが、考えを伺う。	

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3) 「ラーケーションの日」導入について				① 愛知県では今年度の2学期以降、公立校の児童生徒が保護者の休暇に合わせ、年3日まで平日に登校しなくても欠席扱いにしない「ラーケーションの日」を市町村ごとに順次導入する。親の職業が多様化してきている中、親子のコミュニケーションの醸成を図ることや、子供たちの社会性を育むための制度として有意義だと思うが、現状、本市において検討の可能性はあるか伺う。	

令和 5 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	二次医療圏の広域化について		① 5 月末に秋田県内の二次医療圏の見直しがあり、現在の 8 医療圏から 3 医療圏になるようだが、それによるメリットやデメリットをどう見ているか伺う。		
2	新型コロナウイルスの 5 類への引下げについて		① 5 月 8 日から分類が 2 類から 5 類に引き下げられた。行政が関与する仕組みから個人の自主的な取り組みを基本にした対応となった。変更となった具体的な内容について伺う。 ② 5 類となった後の先月末に、学校が臨時休業となった市町村があるが、クラスターが発生した場合の対応について今までと比べて違いはあるのか伺う。 ③ 65 歳以上の方や重症化リスクの高い感染者への今後の対応はどうか伺う。		
3	選挙での投票率向上について		① 昨年の参議院選挙の投票率が 49.12%で、県内最低となったことから、1 月に投票率向上計画が策定された。その後、4 月の県議選の投票率は 52.13%であったが、その結果をどのように見ているか伺う。 ② 移動支援にジャンボタクシーやマイクロバスを使ったが、利用者は期日前・当日投票合わせて 5 名と聞いている。このことをどう考えているか伺う。 ③ 共通投票所にするようになった要因の一つが、投票事務に従事する職員の減少と自治会に依頼する立会人の不足が理由のようだが、民間団体等に委託することはどうか伺う。 ④ 次回から移動投票所の検討もあるようだが、現状でどこまで考えられているか伺う。		
4	中学校の運動部活動の地域移行について		① 中学校の運動部活動の地域移行が進められ、民間クラブも中学校総体に出られるように緩和された。しかし、今年の総体に団体戦で出られなかった民間クラブもある。その時の市の対応について伺う。 ② 今年度から 3 年間を「改革推進期間」として、実情に応じて可能な限り、早期の実現を目指す計画となっている。本市はどのようなスケジュールで進めていくのか伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 教育行政について					
(1) ICT教育について			① GIGAスクール構想により、2021年度から1人1台の端末環境による学びがスタートしているが、タブレットの活用状況とその効果について伺う。		
(2) プログラミング教育について			① 新学習指導要領（2017年3月改定）においてプログラミング教育が必修化されたが、現状どのような指導をされているのか伺う。また、併せて問題点や課題について伺う。		
(3) コミュニティ・スクールの推進について			① 本市のコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）における活動の現状と今後の展望について伺う。		
(4) 生涯学習の振興について			① 生涯学習に関する事業の実施状況、並びに普及啓発に向けた取組みについて伺う。加えて、児童生徒に対するカリキュラム対応（社会教育）について伺う。		
(5) スポーツの普及について（ハーフマラソンの開催について）			① 2020年度からの開催を予定されていた「鹿角シティマラソン（仮称）」について、今後の計画はあるのか伺う。		
2 コンプライアンスの推進について					
(1) 推進体制について			① 不正行為を防止するためには、管理体制を整備し、より強固な組織を構築すべきと考えるが、見解を伺う。		
(2) 職員の教育について			① 職員の倫理観やコンプライアンス意識を高めるための、具体的な取組みについて伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 相指名業者の下請け基準について				① 相指名業者の下請け基準の策定状況に関して、昨年 9 月の一般質問では、望ましくない形態であると認識し、関係規定の整備を進めていくとの回答があった。今年の 3 月議会では整理中とのことだったが、9 カ月経った現在の進行状況を伺う。また、未完の場合、その理由を伺う。	
2 かづの観光物産公社の外部監査指摘事項の改善状況について				① 昨年市長の外部委託によって実施した、かづの観光物産公社に対する経理や仕入れ等の調査における報告書での指摘事項の改善について、チェック状況を伺う。	
3 監査報告書の指摘事項が改善しない件について				① 令和 3 年度の監査報告書において指摘された、服務関係簿冊等の管理における初歩的な誤り等に関して、昨年 6 月の一般質問で質問した際、改善を図る旨回答があったが、令和 4 年度の監査報告書では、「前回監査指摘事項の処理状況においては、各課とも適切な事務処理に努めている旨の報告がなされているが、実態が伴っておらず、改善が見られていない」と、市の対応への失望感がにじみ出ているように感じる。市は令和 3 年度の監査報告書を受けて、具体的にどのような対応をし、また結果的になぜ改善していないのか伺う。	
4 死亡時の手続きの窓口集約について				① 鹿角市では毎年約 500 名程度の死亡数がある。ご遺族は、大切な方を失った直後に、死亡届、年金、国民健康保険をはじめ様々な行政手続きが必要となる。ある大切なご家族を失った市民からは、「様々な手続きが担当ごとの縦割りであり、悲しみで精神的にまいっている中、機械的な対応で悲しくなった」という声があった。 調べてみると、秋田市、北秋田市、能代市ではご遺族支援コーナーが設置され、全国的にも「おくやみコーナー」など名前は違えど、死亡時に必要な複数手続きを一括して扱う窓口を導入している自治体が増えている。この窓口の設置は、遺族にとっては「複数の窓口を回る必要がない」「書類不足等による二度手間の回避」「手続きの異なる書類に同じ内容を何度も記入する手間の改善」といった負担軽減につながり、行政にとっても「各手続き作業を見直すことにより、本人確認方法の一元化等による処理効率向上」「部署連携によるスムーズな手続き処理」「ご家族を取り巻く相続、遺言、借金、遺産など様々な事柄に係る課題の把握や、その解決支援につながる事が期待できる」など、様々なメリットがあると考えます。鹿角市としても、このような窓口を運用すべきと考えるが、市の考えを伺う。	

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
5	生涯スポーツとしてのモルックの普及促進について		また、この考え方は政府、デジタル庁が推進する「死亡・相続ワンストップサービス」の中の1つとして組み込まれているが、鹿角市としてこのワンストップサービスにも取り組むのか伺う。 ① フィンランド発祥の新スポーツ、モルックは年代を問わず楽しめるスポーツで、近年全国で人気が急速に拡大している。今年5月に金沢で初の全国大会が開催され、来年には函館で世界大会も開催予定である。 花輪の公園や十和田市民センター、湯瀬などで、通りすがりの方を含めて子供からお年寄りまで体験していただいたが、非常に好評であった。1人から楽しめ、初めてでも無理なく子供から年配者、国籍関係なく一緒にプレーできる。既存の屋内・屋外の様々な場所（公園、運動場、体育館、ある程度広い部屋）を有効活用でき、冬季を含めた市民の健康増進や、サロン、介護施設、世代間交流、家族・友人の絆づくり、婚活イベント、国際交流から、本格的な大会まで様々な活用が期待できる。 鹿角市としても小中学校の授業・放課後アクティビティー等での採用や、市民センター等で道具の貸し出しや、気軽に参加できる大会、体験会の実施などの取組みについて考えを伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	ライザップとの連携協定について		① 市民の健康づくりのため、R I Z A P グループ株式会社と協定期間1年（延長あり）で連携協定を結んだようだが、この事業の目的と効果はどのようなものか。知名度が絶大でも浸透するまで時間がかかる田舎では、1年の期間は短いのではないか。延長ありということだが、何年間継続することが効果的なのか、また、連携協定終了後のビジョンをどのように考えているか伺う。 ② 全国的なトレーニングブームの中、その代表格であるR I Z A P グループ株式会社との連携協定の締結は素晴らしい事だと思う。この連携を生かしてさらなる事業に踏み込めないか。例えば、アルパスに次ぐトレーニング施設として、空き店舗や空き校舎、空き家の利活用。指導するトレーナーの育成やライザップの食事メニューを提供する飲食店の開設など、こちらから投げかければ実現に至るものもあると思う。これらは市の課題解消と雇用につながるが、そのような考えはないか伺う。		
2	若年層の選挙参画と啓発について		① これまで年配者が担うことが多かった選挙立会人や選挙従事者の配置が困難になっている現状とのことだが、4月の県議選では帰省中の大学生が選挙事務に従事していた。話を聞くと、立会人の存在や業務などを知らなかったが、今回従事して選挙が身近になったと言っていた。また、対価として報酬も支払われるため啓発面で有効だと考える。投票率低下の要因とされている、若年層の選挙参画を推進するため、立会人や選挙従事者の募集を大学生や高校生まで広げる考えはないか伺う。		
3	河川の浚渫工事について		① 昨年大雨被害による河川内の土砂や石の堆積が目につく。特に決壊氾濫した不動川の東町から下川原鉄砲橋までの区間の堆積がひどい状況だ。加えて鉄砲地区周辺の福士川は、川幅の8～9割が土砂の上に草木が生い茂り陸地のような状況だ。この一帯は川幅が狭くなっていることから氾濫しやすく、このままでは今年も再度被災しかねない状況である。また、福士川は鉄砲地区の上流部までは川の中の草刈りがされているが、そこから下流の高速道路高架下まではここ何十年と草刈りがされていない。どういう理由でこのような状況となっているのか。早急に対策を講ずるべきと考えるが、その実施はいつ頃か、実施しないのであればその理由を伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4	防災の治水について		① 浚渫工事は必要だが、実施しても川幅の狭いポイントでは氾濫が起きやすい。時間を稼ぐために水を逃がす・貯める事も考える必要があるのではないかと。例えば、花輪北小学校跡地は浸水区域になっているため土地の利活用が難しいが、大雨の度に氾濫する不動川の水を逃がす貯水池にして、土砂や石を外に流出させない構造とすれば、平時は水田用の貯水池に、災害時は治水機能を有する遊水地として使えるのではないかと。荒唐無稽に聞こえるかもしれないが、異常気象が頻発する今では、そういったことも視野に入れて専門家と検討する時期にきていると考えるが、今後のビジョンについて伺う。		
5	スポ少の活動と中学校部活動の地域移行について		① 小学校部活動のスポ少化に伴い、サポートしている親の負担増加と、夕方から始まる部活動による子供の生活リズムの乱れなど、親も子も疲弊してきているという声が非常に多く寄せられている。教員の負担を軽減し、学校と地域との連携強化を掲げているとはいえ、家庭への負担が増加している。やはり部活動の指導者は教職経験者が望ましいのではないかと。退職した後も指導している方もいることから、教職経験者に指導員をお願いすることはできないかと伺う。 ② 中学校部活動の地域移行については、教職員の負担軽減と指導者についての議論が先行しているが、部員数の減少によりチームが組めない団体競技への対応など、今後の学校部活動の地域移行のあり方についてどう考えられているのか伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6	地域おこし協力隊の活かし方について			① 前回の定例会で質問した、地域おこし協力隊員の活かし方について「隊員から選ばれることも制度活用の重要な要素であり、業務内容が魅力的であることや、受入環境、定住に向けた支援などを整えていく必要があり、地域全体での取組みが求められることから、その有効性を検証しながら活用を判断していく」と答弁されたが、その内容を含めてこれまで何度も提案している。本市の課題は幾つもあり、そこに外部人材として協力隊の活用を訴えてきた。 まちなかオフィスに情報サービス業等の企業進出促進を考えているようだが、条例を変えても待っているだけでは企業の誘致は実現しない。東成瀬村では、協力隊員が村の第三セクターとしての会社を1年半ほど前に立ち上げ、現在では 40 名近い若い協力隊員を採用して様々な地域課題の解消に取り組んでおり、地域にとって必要不可欠な存在となっている。県南地域での協力隊の活用方法や取組みなど一度視察に伺ってみてはと思うが、考えを伺う。	
7	地域活性について			① 前回も質問した地域活性への答弁で、「地域活性化センターへの若手職員の研修派遣を前向きに進めていく」としていたが、研修派遣を希望する職員の早期実現について伺う。	
	(1) 職員派遣について				
	(2) まちづくり活性活動を支援する事業の必要性について(鹿角の未来創造わけもの塾について)			① 市では「鹿角の未来創造わけもの塾」において、補助金の支援に頼ることなく、周囲の人間を巻き込むことができる人材を育成し、継続的な地域活性化につなげていきたいとしているが、人材育成だけでは地域活性を人材に丸投げすることになるため、その先のビジョンが必要ではないかと考える。幾ら人材を生み出しても、一部の人材に費用や責任が集中し負担となることから誰もやらなくなる。継続的な地域活性が生まれないのはその部分に原因があるからだと思うが、今後のビジョンについてどう考えているか伺う。	

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
8	シティープロモーションについて			① 著名人を活用した本市のPR手法について、著名人が本市を訪れた際は、市長自らが直接協力を依頼したいとしていた。5月5日にコモッセで本市出身のギタリスト率いるg o!g o!v a n i l l a sの全国ツアーファイナル公演ライブが開催されたが、実際に会ってお願いしたのか伺う。	
9	コモッセホールの活かし方について			① これまでコモッセホールのイベントは、ブラスバンドや伝統芸能、講演、映画上映などが主だったが、今回のg o!g o!v a n i l l a sのライブを観たところ、充分バンド系のライブにも対応できしており、キャパシティと斜度のある客席は、ステージを近くに感じるメリットがあると思う。アーティストの興行は、関係者や観客も訪れるため、誘致するだけで宿泊、飲食、交通、観光などの外貨獲得に直結する。何よりコモッセの収益となり、鹿角ファン獲得にもつながる交流人口増加のきっかけになる。由利本荘市のカダーレや最近では秋田市のミルハスもアーティストの誘致に力を入れている。本市でもコモッセホールをもっと活用し、外貨と交流人口の獲得を狙うべきと思うが、市長の考えを伺う。	
10	鹿角行政について			① 前回の一般質問で、市のウィークポイントについて考えを伺ったが、そのウィークポイントについて、鹿角市政のトップとして、現行の体制と方法で責任をもって改善することができるのか。または改善するための途中なのか。 市政を株式会社に例えるならば、市長は社長で職員が社員。議員は外部役員で市民が株主。株式会社の役割は、株主から集めた資金で売れる商品やサービスを作って利益を生み出し、株主に還元する。市政で言えば、市民の税金で事業やサービスを生み出し市民に還元して市民から喜んでもらうということだが、現在できているか。 我々、外部役員は、それができているかどうか株主である市民の意見を吸い上げチェックして提言することで、これまであらゆる分野で提言してきたのだが、それが生かされているとは到底思えない。株主や外の意見が反映されず、利益も還元率も低い会社は潰れると思う。現に若者という株主が激減している現状を、市長はどう考えているか伺う。	

令和 5 年第 4 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	6	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 JR 花輪線の全線開通と、今後の利活用の取組みについて(観光産業面、行政面)				① 約 9 カ月ぶりに運転が再開された。再開に向けて沿線自治体と様々な協力を行ったものと思われるが、これまでに無かった新たな協調の取組みはどのようなものであったか。また、その成果について、新たに観光産業面に生かしていくものか伺う。 ② 花輪線の存続及び利便性の向上のため、関連自治体の協調性を高め、継続的に取組みを行っていくべきと考えるが、このことについて伺う。	
2 各種選挙における市民参加と投票率向上のための取組みについて				① 市民の政治参加、選挙における投票というものは、住みよい鹿角市をつくるため非常に大切なことである。投票所の数を減らしてからの投票率の低下が著しいが、この状況をどのように捉えているか伺う。 ② 18 歳及び 60 代、70 代の投票率はどのくらいか伺う。 ③ 今後の選挙では、投票所の数を増やす、有権者と投票箱の距離を縮めることが必要と思われるが、このことについて考えを伺う。	
3 土砂災害警戒区域等に指定されている場所や、その周辺地域の安全確保対策について				① 危害の恐れがある区域の住民に対して、日常における災害防止についての意識の高揚を図る必要があると考える。現在、市ではどのような取組みを行っているか伺う。 ② 土砂災害特別警戒区域について、現在指定している区域の数を伺う。また、どのような防災対策を講じているか伺う。	
4 花輪舟場稲村橋と尾去沢中学校間の道路の通行、横断の安全確保対策について				① 稲村橋は平成 14 年に架け替えされ、歩道も整備されたことから地域住民や通行人からは喜ばれているが、橋から中学校手前の交差点までの区間には横断歩道が 1 カ所しか無いため大変不便である。このことから、当該区間において等間隔に新たに 2 カ所の横断歩道の設置を提言するがいかがか。	

令和５年第４回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	黒澤 一夫	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
			② 冬期には歩道の除雪がされないため、積雪により視界が妨げられ、県道への進入時など車両の通行に支障を生じていることが多く見受けられる。また、下モ平地内、尾去沢中学校までの間も同様である。そこで、この歩道を融雪道路としてはいかがかと考えるが、市の考えを伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	プレミアム付商品券について		① 購入しなければ恩恵がないのは公平性に欠けると考えるが、市の考えを伺う。 ② 代理人でも購入、受け取りは可能か伺う。		
2	法定外公共物（赤道・青道）について		① 法定外公共物（赤道・青道）による住民被害や苦情が起きた場合の対応を伺う。 ② 桜山テニスコート下から館坂上に通じる道が長年通行できない状態になっている。その理由と今までの対応状況を伺う。		
3	花輪小学校の御蔵の下登下校ルート の安全対策と桜山公園チャイム等の整備について		① 花輪小学校の登下校ルートは4ルート（沢口、御蔵の下、盆坂、館坂）と思うが、それぞれの利用児童数を伺う。 ② 御蔵の下は道幅が狭く、通行車両も多いが安全対策はどのようなになっているのか伺う。 ③ 桜山公園のチャイム等の設備を更新、もしくは修繕する予定があるか伺う。		
4	鹿角市 2030 ゼロ・カーボンシティについて		① 市の各部署、部門内の取組みについて、及び今年度末までの目指す目標を伺う。 ② 市広報4月号に記載されているものは、事業所・個人住宅全て補助の対象であるが、国や県の補助事業と併用できると考えてよいのか伺う。 ③ 公有地で太陽光発電により発電された電気の売り先に制限があるのか伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	マイナンバーカードについて				
	(1) 個人情報の管理について		① マイナンバーカードに紐づけされている情報は、市職員がどの程度閲覧できる状況なのか。その管理方法について伺う。		
	(2) マイナ保険証や公金受取口座などのトラブルについて		① 他自治体において、誤って他人の情報が紐づけられ、医療情報の流出や他人の口座が登録されていたというトラブルがあった。他にも、コンビニで他人の証明書が発行されたり、登録抹消した印鑑登録証明書が発行されるなどトラブルが全国で相次いでいるが、本市でそのようなトラブルはないか伺う。また、もしトラブルが発生した場合の対処方法も併せて伺う。		
2	鳥獣被害対策について				
	(1) 鹿角高校付近の対策について		① 来年度開校予定の鹿角高校だが、付近での熊の目撃が多数ある。鹿角地域に高校が1校となり、学生の往来が多くなるが、現在のままでは鳥獣被害が非常に心配される。街灯の増設や柵の設置、草刈りなど様々な対策が考えられるが、今後の対応・対策を伺う。		
	(2) 甲岳岱展望台の対策について		① アクセス道の整備が進められる展望台だが、この近辺は熊による人身被害が発生している地域でもある。整備が完了すれば観光客の往来が多くなると予想される一方、熊による被害も心配される。被害を出さないための対策について考えを伺う。		
	(3) 猟友会への報酬について		① 近年、鳥獣の目撃・被害が多くなり、猟友会との連携が非常に大切となっている。会員には会社勤めの方が多くおり、自営業や農業の方も有害鳥獣駆除の際は仕事を休み出勤しなければならない。駆除の際の人員確保や担い手の確保のためにも今のままの報酬では少ないと感じるが、報酬を上げる考えはないか伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	8	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3	スポーツによるまちおこしについて (1) 冬季等でもスポーツを楽しむ環境づくりについて		① 鹿角地域では、スキーや駅伝が特に注目されている一方、その他にも様々な団体やチームが活躍している。しかし、冬季には思うように練習ができず、規模を縮小しなければならない競技もある。特に強い声が聞かれるのはサッカー競技である。サッカー人口は100名以上おり、子供から大人まで幅広い世代に愛されている。また、鹿角は「キャプテン翼」の作者、高橋陽一先生のゆかりの地でもあり、さらにはバルサアカデミー葛飾校の夏合宿の開催地になったりと、その熱は年々増す一方である。しかし、冬季の練習が思うようにいかないと苦難の声もある。 そこで、サッカー競技や他のスポーツでも使用できる人工芝体育館を建設、または既存の体育館を改修して設置を検討できないものか伺う。また、財源を確保するために、クラウドファンディング型のふるさと納税を活用してはどうかと思うが、併せて考えを伺う。		
4	十和田中学校のトイレについて (1) トイレの改修について		① 十和田中学校3階の女子トイレには、1室だけ扉ではなくカーテンで仕切られている個室がある。保護者からは「今の時代ありえない」という声がある。構造上扉の設置が厳しいということだが、現地を確認したところ少し工夫をすれば設置が可能であると感じた。改めてカーテンを扉に改修する考えはないか伺う。 ② 校内のトイレにおいて、洋式便座への改修が進んでいないことに懸念を抱いている保護者・生徒が多数いる現状である。洋式便座が設置されているのが、生徒用トイレでは1階から3階女子トイレに各1室のみ、男子トイレにおいては2階に1室のみの状況である。令和2年9月時点の文部科学省の調査では、公立小中学校の洋便器率は全国平均57%となっている。対して鹿角市の平均は47.9%であり、十和田中学校に至っては9%である。健康面、衛生面を考えても洋式への改修が急務と感じる。 以前より学校側からも要望が上がっていると思うが、トイレ整備に対する今後の予定と方針について伺う。また、令和3年3月改訂の鹿角市学校施設長寿命化計画の中の今後5年間の計画に、十和田中学校の改築とあるが、その内容も併せて伺う。		

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	9	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	「こども家庭庁の発足と本市の支援のあり方」について (1) 本市における、子供と家庭への支援策のあり方について (2) 本市における子供の貧困対策について (3) 児童虐待対策について (4) 子育て支援について			① 「こども家庭庁」の設置に伴い、本市では子供と家庭への支援策の検討が行われているが、具体的な計画や実現のための工程表、さらには出生者数の減少を考慮した独自の取組みについて伺う。 ① 本市における子供の貧困対策について、どのような取組みが行われているのか伺う。 ① 近年、全国的に児童虐待の発生件数が増加傾向にあるが、本市における直近の児童虐待認知件数について伺う。また、本市の児童虐待対策について、具体的な予防活動の内容、対象者、周知の方法などについて併せて伺う。 ② 児童虐待の早期発見のために、どのような取組みを行っているのか。また、通報を受けた場合の対応や関係機関との連携体制について伺う。 ③ 児童虐待防止のための体制について、児童虐待の被害に遭った子供やその家族の支援内容や相談窓口の設置状況、運営状況について伺う。 ① 本市において、現在行われている子育て支援の取組みについて伺う。	
2	投票率向上について			① 秋田県議会議員選挙の投票率が前回の選挙より 10%低下している要因について伺う。 ② 投票率の低下は、民主主義における市民の政治参加意識の低さを示す深刻な問題である。本市では投票率向上のための具体的な施策や投票所の再編に取り組んでいるが、その効果と課題、市民の政治参加促進に対する考え方について伺う。	

令和5年第4回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	9	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
3		十和田図書館整備事業の進捗状況について		③ 投票率の低下は、特に若者に顕著である。若者の投票率を向上させるためには、どのような戦略や施策が必要だと考えているのか伺う。	
				① 十和田図書館の移転工事費の総額について、及び本事業の進捗状況を伺う。	
				② 移転後の図書館について、費用対効果を考えた場合の入館者数などの目標は設定されているか。また、花輪図書館のように来館者数や貸出冊数を増やすための具体的な方策があるのか伺う。	
				③ 最近、全国的に入札が不調になるという情報を新聞報道などで目にすることがあるが、十和田図書館の入札についてはどうか伺う。	
4		新型コロナウイルスの5類移行後の本市の対応について		④ 移転後の跡地利用について伺う。	
				① 新型コロナウイルスの5類移行後の本市の対応策について、また、具体的な対応策や人材的・財政的な支援策について伺う。	